

海外展開のスズメ

海外事情編

台湾市場参入の可能性

国際センター
とっぴとス

台湾は日本の農林水産物輸出先の上位国であり、今も年々成長を続けています。「海外進出のスズメ」は今回、鳥取県産品の台湾市場参入の可能性について台湾の食品バイヤーに伺いました。

台湾での日本食市場の現状とトレンドは。

「現在、台湾では特に若い世代と健康志向の高い消費者の間で、日本食の人気が高まっています。また、地方特産品で独自性の高い商品が注目されていま

す」

県産の農水産物や加工品の評価はどうですか。

「有名な二十世紀梨や水揚げ日本一のカニなどは品質が高く、台湾の消費者にも好評です。一方で梨やカニのイメージが強く、そのほかの食品の

イメージはあまり定着していないようです。今は日本の地方特産品への関心が高まっており、県産品を紹介する好機が来ていると思います」

台湾市場に県産品をさらに広めるための戦略は。

「商品の品質の高さを前面に出すことが重要です。台湾の消費者は食の安全性を非常に重視しており、トレーサビリティ（商品の追跡・管理）や無

添加などの情報をしっかりと伝えることが効果的でしょう。また、台湾の消費者は新しい味に寛大なため、現地での試食イベントなど、実際に味わう機会を作ることが県産品の魅力を広めることにつながると思います」

インタビューを終えて

鳥取県産品の品質が高い農水産物は、台湾の消費者ニーズに合った商品であり、積極的に展開することで、さらに販路が広



台湾食品展示会の出展社を当センターが支援

がる可能性を感じました。当センターでは、台湾などの海外バイヤー招聘やWeb商談を実施しています。海外展開に取り組みたい企業は、ぜひ当センター（☎30-3161）にご相談ください。